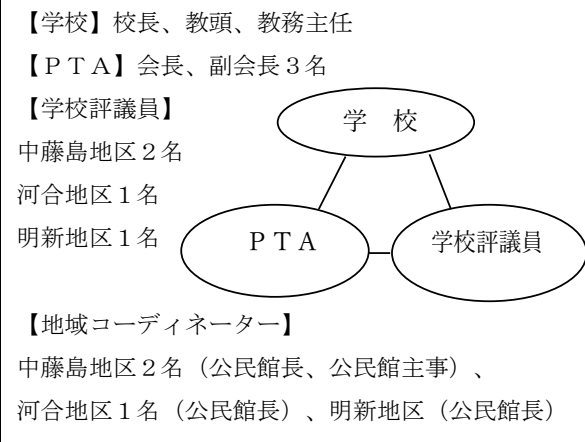


## 1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

### (1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成



### (2) 協議会の内容

開催回数	3回
開催日程	第1回 7月30日
	第2回 11月14日
	第3回 2月18日
協議内容	
第1回	本校の教育方針、生徒の現状と課題
第2回	地域全体の教育や子育て 各校の報告をふまえた意見交換
第3回	本校教育の成果と課題 (学校評価集計結果より)

### (3) 協議会における成果と課題

学校が抱える諸問題について、PTAおよび学校評議員が情報を共有し、忌憚のない意見を交換することができた。特に、保護者として学校にできることは何かを考えていただき、心強いものがあった。課題としては、教員の働き方改革にともない地域行事の見直しが図られているが、意義のあるものも多いので継続していけるように工夫する。

## 2 地域と進める体験活動

### (1) 活動のねらい

地域資源を活用した体験活動を行うことで、地域の一員であることに誇りをもち、地域づくりに貢献しようとする生徒を育成する。

### (2) 活動の実際

#### ①交通安全マスコットづくり（1年生）

交通事故のない安全なまちづくりに貢献しようとの思いからを込めて生徒一人一人が交通安全マスコットを作成し、地域の方々に配布する活動を行った。まず、各クラスで、最近の交通事故の特徴について学んだ後、マスコットを作成し、交通安全を願う手書きのメッセージカードを添えた。マスコットのデザインについては、地域コーディネーターである中藤島公民館館長、公民館主事の方から、以前に公民館の講座で作成したマスコットをお借りし、それを参考にして部活動で家庭部員が考えた。また、家庭部員は各クラスで作成する際、作り方のアドバイスをを行った。生徒たちが作ったマスコットは、1年生の代表者が学校隣のスーパーマーケットの駐車場で、明新交番の警察官や地域の交通安全協会の方々と一緒に、来客の方々に配布した。



#### ②地区での演奏披露と交流会（2年生）

河合地区と明新地区へ吹奏楽部が出かけていき、演奏披露を行った。地域コーディネーターの河合公民館長には、公民館行事と地域行事の日程を確認するのに協力をいただき、実施日を決めることができた。その結果、河合地区では、グループホームを訪問することとなり、お年寄りの方や障害をもつ方に楽しんでいただけるような曲を演奏した。演奏を行うと、参加者から自然と手拍子が出たり、楽しそうに体を揺らしたりする姿も見られ、大いに盛り上がった。また、明新地区では、地域コーディネーターである明新公民館長に、日程



(様式3)

の調整および当日の楽器運搬トラックの駐車場の確保等の支援をいただき、秋季休業中に「すいせん児童館」を訪問することができた。そこでは、演奏披露だけでなく、事前に生徒たちが考えてきたゲームを行い、地区の小学生と交流を図ることができた。

### ③地域での奉仕活動（全学年）

地域でできるボランティアについて考え、1学期の6月は全校生徒が、2学期の11月は1年生が、公園、公民館、神社などの清掃活動を行った。特に、2学期については、各公民館を通して自治会長に中学生に手伝ってもらいたい作業を募り、依頼のあった自治会については指定された公園の清掃活動を行った。その以外の地区については、生徒たちが話し合い、活動する場所と内容を決めて奉仕活動を行った。



### (3) 地域コーディネーターの活動概要

地域貢献活動を行うにあたり、各公民館長、公民館主事の方々には、自治会連合会を通して自治会ごとに中学生に作業をしてもらいたい場所や内容の集約に協力していただいた。また、奉仕活動の日時を地域住民に広く知らせることで、地域の方も奉仕活動に協力できる体制を整えていただいた。

吹奏楽部による地区での演奏披露の際には、河合公民館長、明新公民館長に児童館での活動予定の調整、楽器搬入にともなう搬入口・搬入経路の確保を行っていただいた。

### (4) 特に工夫した事項

- ・活動を行う際には、その意義やねらいを生徒に分かりやすく伝えることで、活動への参加意欲の向上を図った。
- ・地域の方と言葉を交わしたり、一緒に作業をしたりといった「人と直接関わる活動」を積極的に取り入れるよう配慮した。
- ・活動を振り返ることで、地域の人々のつながりについて、より深く考えることができるようにした。

### (5) 成果と課題

成果として、今年度「人と直接関わる活動」を念頭におき体験活動を実施したことで、自分たちが地域に必要とされていることを実感するとともに、地域により貢献しようという意識が高まってきた。具体的には、地区体育大会をはじめ、地域の祭り、地区文化祭などにおいて、企画や運営を積極的に引き受けたり、ボランティアとして活動に参加したりする生徒が増えた。また、自分たちの地域に対して中学生として貢献できることはないかを話し合い、地区の公民館や神社、公園等の清掃活動に取り組んだ。2学期の地域貢献活動では自治会ごとに中学生に手伝ってもらいたい作業を募ったが、要請が得られたのは3つの自治会のみであった。

今後の課題として、広報活動を充実させたり、地域での生徒の活動の様子を発信したりしていく必要を感じた。さらには、交流活動やボランティア活動を進める中で、地域の方の思いや願いを知り、生徒自らが課題を設定し、それを解決していくような活動を取り入れていきたい。そして、地域への愛着を深め、地域に対する誇りを一層高めさせていきたい。